

ロシア・ボンド・オープン (年1回決算型)

運用報告書(全体版) 満期償還

(償還日 2025年8月6日)

(作成対象期間 2024年8月7日～2025年8月6日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ロシア・ルーブル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	2017年 8 月 7 日～2025年 8 月 6 日		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	ロシア債券マザーファンドの 受益証券	
	ロシア債券 マザーファンド	ロシア・ルーブル建債券	
組入制限	ベビーファンドの マザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの 株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J Pモルガン G B I - E M ロシア (円換算)		公 社 債 組入比率	債券先物 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 金 分 配	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4 期末 (2021年 8 月 6 日)	10, 358	0	0. 6	11, 239	2. 5	94. 3	—	52
5 期末 (2022年 8 月 8 日)	1, 395	0	△ 86. 5	5, 131	△ 54. 4	—	—	8
6 期末 (2023年 8 月 7 日)	1, 379	0	△ 1. 1	8, 553	66. 7	—	—	8
7 期末 (2024年 8 月 6 日)	3, 589	0	160. 3	6, 663	△ 22. 1	—	—	20
償 還 (2025年 8 月 6 日)	3, 573. 52	—	△ 0. 4	5, 139	△ 22. 9	—	—	19

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) J Pモルガン G B I - E M ロシア (円換算) は、J Pモルガン G B I - E M ロシア (ロシア・ルーブルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10, 000として大和アセットマネジメントが計算したものです。J Pモルガン G B I - E M ロシア (ロシア・ルーブルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

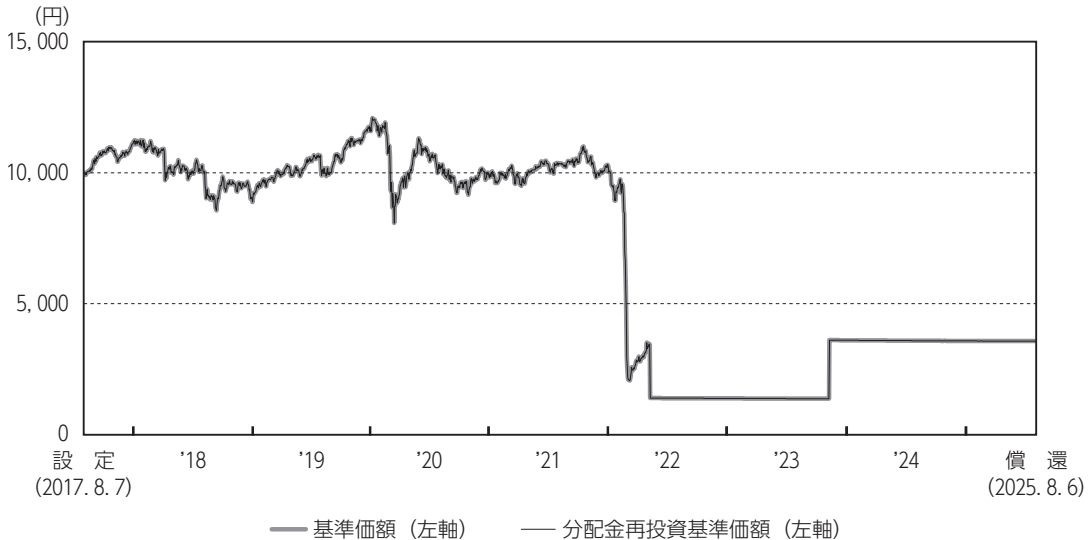
(注 5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：3,573円52銭（既払分配金0円）

騰落率：△64.3%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

当ファンド設定時より、投資した債券からの利息収入がプラス要因となりましたが、2022年以降は、ロシア債券市場が混乱したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」および「信託期間中のポートフォリオについて」をご参照ください。

ロシア・ボンド・オープン（年1回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I－E M ロシア (円換算)		公 社 債 組入比率	債券先物 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2024年 8 月 6 日	円	%		%	%	%
	3, 589	—	6, 663	—	—	—
8 月末	3, 587	△ 0. 1	6, 317	△ 5. 2	—	—
9 月末	3, 586	△ 0. 1	6, 150	△ 7. 7	—	—
10月末	3, 585	△ 0. 1	2, 209	△ 66. 8	—	—
11月末	3, 582	△ 0. 2	2, 089	△ 68. 6	—	—
12月末	3, 581	△ 0. 2	2, 436	△ 63. 4	—	—
2025年 1 月末	3, 579	△ 0. 3	2, 737	△ 58. 9	—	—
2 月末	3, 578	△ 0. 3	3, 201	△ 52. 0	—	—
3 月末	3, 577	△ 0. 3	3, 554	△ 46. 7	—	—
4 月末	3, 576	△ 0. 4	3, 813	△ 42. 8	—	—
5 月末	3, 576	△ 0. 4	4, 417	△ 33. 7	—	—
6 月末	3, 575	△ 0. 4	4, 708	△ 29. 3	—	—
7 月末	3, 573	△ 0. 4	5, 075	△ 23. 8	—	—
(償還) 2025年 8 月 6 日	3, 573. 52	△ 0. 4	5, 139	△ 22. 9	—	—

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

(2017.8.7～2025.8.6)

■ロシア債券市況

ロシア債券市場では、当ファンド設定日から2020年2月にかけて、ロシア中央銀行による利下げを受け、金利は低下（債券価格は上昇）しました。その後は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大への懸念から、金利は一時大幅に上昇（債券価格は下落）しましたが、各国の流動性供給策を受けて新興国からの資金流出懸念が後退したことなどから、金利は再び低下しました。2020年半ば以降は、ロシア中央銀行による利上げを受け、金利は上昇しました。2022年に入ると、ロシアによるウクライナ侵攻の影響を受けて金利は急上昇しました。また、ロシア債券の非居住者による取引や取引後の受渡しが困難な状況となりました。このような状況下、換金性枯渇の長期化が見込まれたことから、2022年5月にロシア債券の評価および未収利息をゼロとしました。2023年11月には、適正な手続きによる取引が可能な機会があり、当ファンドではゼロより高い価格で保有するすべての債券の売却を行いました。その後も、ロシア債券の非居住者による取引や取引後の受渡しが困難な状況が継続しました。

■為替相場

ロシア・ルーブル対円為替相場は、当ファンド設定日から2020年3月にかけて、世界的な貿易摩擦懸念や新型コロナウイルスの感染拡大により、市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、大幅に下落（円高）しました。その後は、各国の金融・財政政策により、市場のリスク回避姿勢が和らいだことや、ロシア中央銀行が利上げを実施したことなどから、ロシア・ルーブルは対円で上昇（円安）しました。しかし2022年に入ると、ロシアによるウクライナ侵攻の影響を受け、ロシア・ルーブルは対円で大幅に下落しました。3月以降は、ロシアが資本の流出規制を行ったことや国内の金融機関が買い支えを行ったことなどから、ロシア・ルーブルは対円で上昇しました。年後半以降は、日銀が金融緩和姿勢を後退させたことやロシア・ウクライナ情勢への懸念がくすぶったことなどから、ロシア・ルーブルは対円で下落しました。

■国内短期金融市況（2023年11月以降）

日銀はマイナス金利政策を継続していましたが、2024年3月に同政策が解除されました。その後も日銀が利上げを行ったことを受けて、短期金利は上昇しました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

主として、「ロシア債券マザーファンド」の受益証券を通じて、ロシア・ルーブル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ロシア債券マザーファンド

主として、ロシア・ルーブル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

運用にあたっては、投資対象をロシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関が発行する債券とし、金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。

信託期間中のポートフォリオについて

（2017.8.7～2025.8.6）

■当ファンド

主として、「ロシア債券マザーファンド」の受益証券を通じて、ロシア・ルーブル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。しかし、2022年5月以降はロシア国債の評価をゼロとし、保有債券売却後はロシア国債の流動性の低さや経済制裁による規制の影響から、円キャッシュを中心とした運用を行いました。

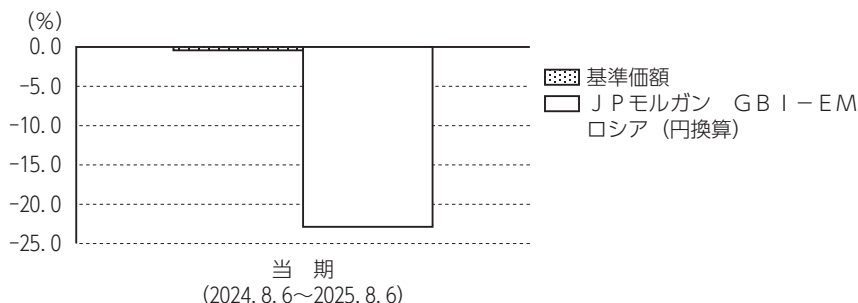
■ロシア債券マザーファンド

主として、ロシア・ルーブル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。しかし、2022年5月以降はロシア国債の評価をゼロとし、保有債券売却後はロシア国債の流動性の低さや経済制裁による規制の影響から、円キャッシュを中心とした運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はロシア債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

信託期間中の収益分配は、経費控除後の配当等収益が計上できなかった、または少額であったため、行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 8. 7～2025. 8. 6)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	29円	0. 814%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3, 580円です。
(投 信 会 社)	(0)	(0. 011)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(28)	(0. 770)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 033)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	29	0. 817	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

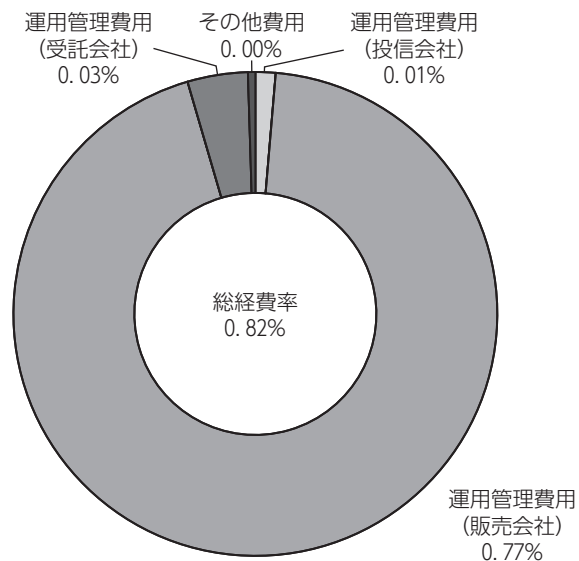
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.82%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ロシア・ボンド・オープン（年1回決算型）

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況
(2024年8月7日から2025年8月6日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ロシア債券 マザーファンド	—	—	60,105	19,961

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等
当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	償還時保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
50	—	—	50	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	期 首
	□ 数
	千□
ロシア債券マザーファンド	60,105

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成
2025年8月6日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	19,255	100.0
投資信託財産総額	19,255	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況
2025年8月6日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	19,255,880円
コール・ローン等	19,255,625
未収利息	255
(B) 負債	77,801
未払信託報酬	77,801
(C) 純資産総額 (A－B)	19,178,079
元本	53,667,147
償還差損益金	△ 34,489,068
(D) 受益権総口数	53,667,147口
1万口当り償還価額 (C／D)	3,573円52銭

* 期首における元本額は55,800,959円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は2,133,812円です。
* 償還時の計算口数当りの純資産額は3,573円52銭です。
* 償還時の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は34,489,068円です。

■損益の状況
当期 自 2024年8月7日 至 2025年8月6日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	717円
受取利息	717
(B) 有価証券売買損益	74,108
売買益	72,489
売買損	1,619
(C) 信託報酬等	△ 159,308
(D) 当期損益金 (A＋B＋C)	△ 84,483
(E) 前期繰越損益金	△ 29,859,292
(F) 追加信託差損益金	△ 4,545,293
(配当等相当額)	(311,468)
(売買損益相当額)	(△ 4,856,761)
(G) 合計 (D＋E＋F)	△ 34,489,068
償還差損益金 (G)	△ 34,489,068

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：1,006円（未監査）

投資信託財産運用総括表					
信託期間	投資信託契約締結日	2017年8月7日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2025年8月6日		資産総額	19,255,880円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	77,801円
				純資産総額	19,178,079円
受益権口数	50,000,000口	53,667,147口	3,667,147口	受益権口数	53,667,147口
元本額	50,000,000円	53,667,147円	3,667,147円	1単位当り償還金	3,573円52銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	50,000,000	50,214,230	10,043	0	0.00
第2期	50,000,000	49,458,914	9,892	0	0.00
第3期	50,328,689	51,832,239	10,299	0	0.00
第4期	50,768,073	52,587,221	10,358	0	0.00
第5期	62,773,865	8,756,162	1,395	0	0.00
第6期	62,570,341	8,629,800	1,379	0	0.00
第7期	55,800,959	20,028,502	3,589	0	0.00

（注）1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ	
1万口当り償還金	3,573円52銭

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

（運用状況にかかる情報の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

ロシア債券マザーファンド

運用報告書 繰上償還（償還日 2025年8月5日）

（作成対象期間 2024年8月7日～2025年8月5日）

ロシア債券マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

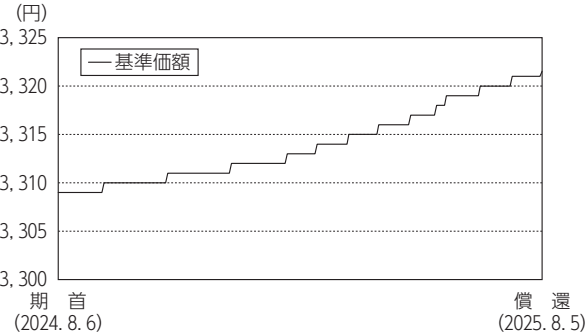
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ロシア・ルール建債券
株式組入制限	信託財産の純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		JPMorgan GBI-EM ロシア (円換算)		公 社 債 組入比率	債券先物 比 率
	円	騰落率 (参考指数)	円換算	騰落率		
(期首) 2024年 8 月 6 日	3,309	—	6,663	—	—	—
8 月末	3,309	0.0	6,317	△ 5.2	—	—
9 月末	3,310	0.0	6,150	△ 7.7	—	—
10 月末	3,311	0.1	2,209	△ 66.8	—	—
11 月末	3,311	0.1	2,089	△ 68.6	—	—
12 月末	3,312	0.1	2,436	△ 63.4	—	—
2025年 1 月末	3,313	0.1	2,737	△ 58.9	—	—
2 月末	3,314	0.2	3,201	△ 52.0	—	—
3 月末	3,315	0.2	3,554	△ 46.7	—	—
4 月末	3,317	0.2	3,813	△ 42.8	—	—
5 月末	3,319	0.3	4,417	△ 33.7	—	—
6 月末	3,320	0.3	4,708	△ 29.3	—	—
7 月末	3,321	0.4	5,075	△ 23.8	—	—
(償還) 2025年 8 月 5 日	3,321.53	0.4	5,139	△ 22.9	—	—

(注 1) 騰落率は期首比。
(注 2) JPMorgan GBI-EM ロシア (円換算) は、JPMorgan GBI-EM ロシア (ロシア・ルーブルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10,000 として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan GBI-EM ロシア (ロシア・ルーブルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注 5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

- ◆基準価額等の推移について
【基準価額・騰落率】
設定時：10,000円 償還時：3,321円53銭 騰落率：△66.8%
【基準価額の主な変動要因】
当ファンド設定時より、投資した債券からの利息収入がプラス要因となりましたが、2022年以降は、ロシア債券市場が混乱したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」および「信託期間中のポートフォリオについて」をご参照ください。
- ◆設定以来の投資環境について
○ロシア債券市場
ロシア債券市場では、当ファンド設定日から2020年2月にかけて、ロシア中央銀行による利下げを受け、金利は低下（債券価格は上昇）しました。その後は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大への懸念から、金利は一時大幅に上昇（債券価格は下落）しましたが、各国の流動性供給策を受けて新興国からの資金流出懸念が後退したことなどから、金利は再び低下しました。2020年半ば以降は、ロシア中央銀行による利上げを受け、金利は上昇しました。2022年に入ると、ロシアによるウクライナ侵攻の影響を受けて金利は急上昇しました。また、ロシア債券の非居住者による取引や取引後の受渡しが困難な状況となりました。このような状況下、換金性枯渇の長期化が見込まれたことから、2022年5月にロシア債券の評価および未収利息をゼロとしました。2023年11月には、適正な手続きによる取引が可能な機会があり、当ファンドではゼロより高い価格で保有するすべての債券の売却を行いました。その後、ロシア債券の非居住者による取引や取引後の受渡しが困難な状況が継続しました。
- 為替相場
ロシア・ルーブル対円為替相場は、当ファンド設定日から2020年3月にかけて、世界的な貿易摩擦懸念や新型コロナウイルスの感染拡大により、市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、大幅に下落（円高）しました。その後は、各国の金融・財政政策により、市場のリスク回避姿勢が和らいだことや、ロシア中央銀行が利上げを実施したことなどから、ロシア・ルーブルは対円で上昇（円安）しました。しかし2022年に入ると、ロシアによるウクライナ侵攻の影響を受け、ロシア・ルーブルは対円で大幅に下落しました。3月以降は、ロシアが資本の流出規制を行ったことや国内の金融機関が買い支えを行ったことなどから、ロシア・ルーブルは対円で上昇しました。年後半以降は、日銀が金融緩和姿勢を後退させたことやロシア・ウクライナ情勢への懸念がくすぶったことなどから、ロシア・ルーブルは対円で下落しました。
- 国内短期金融市場（2023年11月以降）
日銀はマイナス金利政策を継続していましたが、2024年3月に同政策が解除されました。その後も日銀が利上げを行ったことを受けて、短期金利は上昇しました。
- ◆信託期間中の運用方針
主として、ロシア・ルーブル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。運用にあたっては、投資対象をロシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関が発行する債券とし、金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。

◆信託期間中のポートフォリオについて

主として、ロシア・ルーブル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。しかし、2022年5月以降はロシア国債の評価をゼロとし、保有債券売却後は、ロシア国債の流動性の低さや経済制裁による規制の影響から、円キャッシュを中心とした運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期における売買および取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

項 目	2025年8月5日現在	
	償 還 時 評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 34,178	% 100.0
投資信託財産総額	34,178	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年8月5日現在	
項 目	償 還 時
(A) 資産	34,178,051円
コール・ローン等	34,177,598
未収利息	453
(B) 負債	—
(C) 純資産総額 (A－B)	34,178,051
元本	102,898,634
償還差損益金	△ 68,720,583
(D) 受益権総口数	102,898,634口
1万口当り償還価額 (C／D)	3,321円53銭

* 期首における元本額は108,505,775円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は5,607,141円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ロシア・ボンド・オープン (毎月決算型) 45,466,796円
 ロシア・ボンド・オープン (年1回決算型) 57,431,838円
* 償還時の計算口数当りの純資産額は3,321円53銭です。
* 償還時の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は68,720,583円です。

■損益の状況

当期 自 2024年8月7日 至 2025年8月5日	
項 目	当 期
(A) 配当等収益	133,973円
受取利息	126,709
その他収益金	7,264
(B) その他費用	△ 751
(C) 当期損益金 (A＋B)	133,222
(D) 前期繰越損益金	△ 72,603,276
(E) 解約差損益金	3,749,471
(F) 合計 (C＋D＋E)	△ 68,720,583
償還差損益金 (F)	△ 68,720,583

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。(下線部を変更)

<変更前>

(運用報告書)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

(運用状況にかかる情報)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。